

2021.October

Amakuru?

Rimwe

01

JICA Hokkaido - Rwanda News published by Takuma Fujiwara

#JICA海外協力隊 #2021-1st Batch #Rwanda #Volunteer



遠く離れたアフリカの地から、日本のみなさんへ…

はじめまして、JICA海外協力隊2021年度1次隊の藤原琢馬です。私は現在、アフリカにある「ルワンダ共和国」という国に派遣されています。これから、不定期にはなりますが、この国での生活や体験、活動の様子などを紹介していきたいと思います。この通信を機に、協力隊事業やルワンダに興味をもってもらえるとうれしいです。



なぜ協力隊になろうと思ったのか？

私自身のことについて、まずは簡単に自己紹介をさせてください。私が協力隊になるまでの経歴や動機が、協力隊事業に関心をもつ全ての人の参考になれば幸いです。



上の似顔絵は、中学校勤務時に卒業生が描いてくれたもの

名前：藤原 琢馬 (ふじわら たくま)

職種：小学校教育

経歴：北海道札幌市で、中学校教諭を10年間務めた。コロナ禍による1年の待機期間を経て、2021年度4月より、現職教諭として協力隊事業に参加。8月からルワンダに滞在。

動機：2018年、アフリカの「ガーナ」を訪れ、現地で活動するJICA海外協力隊員に「このまま一生札幌市にいて良いのか？」と発破をかけられ、自身も協力隊への挑戦を決意。

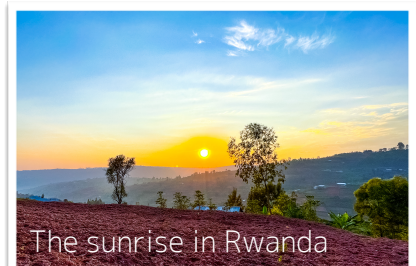
はじまりはいつも突然です。人生は案外「何気ない一言」で大きく動くものなのかもしれません。みなさんの周りにも、きっと人生を変える「きっかけ」があるはずですよ。



「変わる」ことで「変わらない」協力隊として…

私は本来、2020年度1次隊として「サモア」という国に派遣される予定でした。しかし、コロナ禍の影響で派遣は中止、結果的に1年間の延期と任国変更を余儀なくされました。そのため、私はこの度ついにルワンダという新天地に立つことができたことを、心から嬉しく思います。

コロナ禍を堺に、協力隊の活動も確実に変わります。しかし、発展途上国に協力隊が派遣されることの意義は変わりません。そのことを忘れず、自分自身が時代に合わせて「変わっていく」ことで、「変わらない」協力隊像を体現していきたいと思っています。ぜひ、応援よろしくお願い致します。



As a member of Japan Overseas Cooperation Volunteers